JAはだの

発行所
秦野市
農業協同組合
（神奈川県）
〒257-0015
秦野市平沢477
電話 0463(81)7711㈹
編集兼発行者 宮永 均

「村上いちご園」の鮮やかな紅色に染まったイチゴ

今月の特集
4～5面

新春飾る行事・活動続々

2017年が幕開けし、正月の伝統行事や新年を祝うイベントが開かれた。JAはだのは、今年もJA事業や農業を通じ地域に根差した活動を展開していく。

メール情報配信サービス

QRコードで登録を

JAはだのは、携帯電話やパソコンなどのメールを利用した情報配信サービスを行っています。月2回のメールマガジンと、営農・じばさんず・セレモニーホールなどのさまざまな情報を発信しています。上記のQRコードを読み取り、簡単な手続きを進めるだけで登録できます。

お問い合わせは組織教育課まで。☎81－7714

新年のごあいさつ

さらなる農業振興目指して

代表理事組合長 山口（やまぐち） 政雄（まさお）

新年明けましておめでとうございます。今年も組合員の皆さまにとって、幸多き年であることを祈っております。

農業・JAを取り巻く環境は、「都市農業振興基本計画」の閣議決定を受け、神奈川県および秦野市における地方計画の策定が待たれる中、都市農業が多様な機能を発揮し、将来へ引き継がれるよう、必要な施策の確立や具体的な法・税制度の見直しを求めていく必要があります。

JAはだのでは、このような情勢変化の中、さらなる農業振興と協同組合運動の躍進に向けて、第四次中期経営計画の中間年度の実践に取り組みます。

営農指導事業では、JAはだの営農経済改革に全力で取り組み、「第二次地域農業振興計画」最終年度の実践に努めます。特に、TAC訪問体制の強化による生産振興作物の普及と生産支援・販路拡大など、多様な農家ニーズに対応した営農支援などを踏まえた取り組みを実践します。

販売事業では、「はだのじばさんず」を拠点として地産地消の取り組みを強化し、出荷者への消費者ニーズに合った品目の栽培指導と安全・安心な農産物の供給拡大を図ります。

経済事業では、農業者の生産コストの低減と事業収支の改善を第一に、予約購買や大口利用者への対応強化など、生産資材の供給に努めます。

JAはだのは、組合員とともに役職員一丸となって基本理念である「夢のある農業と次世代へつなぐ豊かな社会を地域できずく」の実現に取り組んでまいります。

にぎわうイチゴ狩り

シャッターチャンス

秦野市内で、今シーズンもイチゴ狩り園がオープンし、県内外から訪れる多くの観光客で連日にぎわいを見せている。

現在、若手農家3人が開園。毎年約2万2000人が来園し、豊かな自然の中でイチゴ狩りを満喫している。

2月上旬には新たに、堀山下の村上洋さんが戸川に「村上いちご園」をオープンさせる。

村上さんは「たっぷりと甘さが乗り、仕上がりは上々。ぜひ多くの人においしいイチゴを味わってほしい」と笑顔で話している。

新年の幕開け祝う

賀詞交歓会で問題意識共有

JAはだの
新年賀詞交歓会

地域農業の発展に向けて万歳三唱で締めくくった

JAはだのは10日、本所で新年賀詞交歓会を開いた。役職員をはじめ、古谷義幸市長や牧島かれん衆議院議員ら83人が出席し、新年の幕開けを祝った。

山口政雄組合長は「農業やJAを取り巻く環境は重大な転換期を迎えている。農商工が連携し〝オール秦野〟で地域農業の活性化や農家の所得向上に取り組んでいきたい」と力強くあいさつした。

出席者は、新年のあいさつを交わしながら親睦を深めた。TPP（環太平洋連携協定）や農協改革などについて問題意識を共有し、今後の地域農業の発展を誓い合った。

確定申告の相談はJAへ

e―TAXにも対応

平成28年分確定申告の受け付けを2月16日（木）～3月10日（金）まで各支所・支店で行います。

相談される方は、関係書類をそろえ、事前に各支所・支店へご連絡の上、お越しください。

国税電子申告・納税システム（e―Tax）申告にも対応します。また、マイナンバー制度導入に伴い、28年分の申告手続きからマイナンバーの記載と本人確認書類の写しの添付が必要です。

詳しくは各支所・支店または組織教育課まで。☎81－7714

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

R70 古紙パルプ配合率70％再生紙を使用

花 GAP 独自に策定

品質認証で販売後押し

小菊が市のブランド登録

花き部会は、独自のGAP（農業生産工程管理）を策定し、小菊を先行モデルとして秦野市が認める優良農産物のブランド登録を果たした。花きのGAPは全国的にも先進的な取り組み。品質の高さを明確に表し、付加価値の向上による直売所での有利販売を目指す。

ブランド認証を受けた小菊の品質を確かめる加藤さん

同市はブランド政策として「秦野市優良農産物等登録認証制度」を設け、一定基準以上の品質を保持する農産物を後押ししている。認証を受けるには、GAPなど作物の安全性を示す関連書類が不可欠だ。このため、同部会は「農薬に関する事項」など20項目を策定。3年がかりで花き専用のGAPを作り上げた。加藤政市部会長は「花のGAP完成は悲願だった。品質の裏付けが明確になれば、他の商品との差別化ができ、有利販売につながる」と自信を見せる。

認証を受けた小菊は、息子の宗雅さんが栽培する。ブランドの商品特性は、花持ちの良さ。GAPを順守しながら、鮮度保持作用がある機能性フィルムや水揚げ促進剤を使用し、一般の花よりも2週間以上の日持ち効果を実現した。

今後、バラやカーネーションでも同制度の認証を受ける予定だ。

6次化で大豆の魅力発信

菩提の小泉さん 日本農業賞県代表に

㈱大地の代表を務める菩提の小泉達雄さんは、大豆「津久井在来」の6次産業化に力を入れ、多くの人に魅力を伝えている。

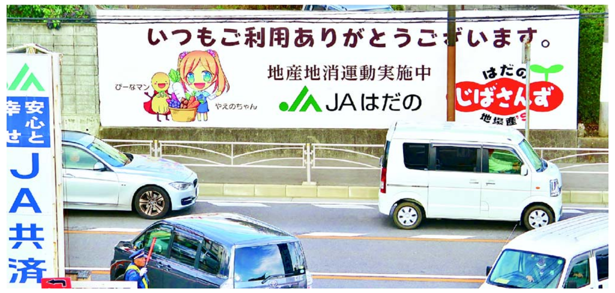
小泉さんは大豆の他、米や小麦などを合計14㌶以上で栽培。減農薬を心掛けた安全・安心な栽培方法の他、耕作放棄地を積極的に活用した農産物の生産などに取り組んでいる。

栽培する大豆の中でも面積の多くを占める品種が、深みのある甘さが特徴の「津久井在来」だ。「この味にほれ込んだ」と笑顔で話す小泉さんは、収穫した大豆を県内外の業者と連携して納豆やしょうゆ、豆菓子などに加工し、じばさんずや特産センター秦野・渋沢の両店などに出荷。購入者からは「豆そのもののおいしさが伝わってきて、とてもおいしい」など人気を集めている。

大豆の品質を確かめる小泉さん

地域農業の活性化に貢献してきた多くの実績が高い評価を受け、第46回日本農業賞の神奈川県代表に選出された。

小泉さんは「これからも品質に一切妥協せず、おいしいものだけを消費者に届けていきたい。新たな加工品の開発にも力を入れていく」と意気込みを燃やしている。



本所出入り口正面に設置した巨大看板

巨大看板で地産地消運動アピール

JAはだのは、本所駐車場の出入り口正面にJAからのメッセージを掲げた巨大な看板を設置した。

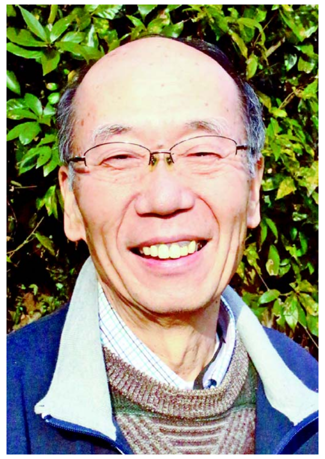
看板は縦2・36㍍横9・8㍍で、設置箇所は国道246号線沿いの人や車の往来が激しい場所。JAの駐車場の出入り口正面に位置し、JA利用者や道行く人に「いつもご利用ありがとうございます」という感謝の言葉を伝えている。JAが進める「地産地消運動」をPRする他、オリジナルキャラクターの「やえのちゃん」「ぴーなマン」も掲示し、多くの人にJAに親しみを持ってもらう狙い。

看板を見た利用者の一人は「大きくお礼が書いてあって気持ちが良い。JAに来るとすぐに目に入る」と話した。

接近！おじゃまします (336)

柳川で茶の栽培や羊の飼育に励んでいる熊澤義行さん。同地区で生まれ育ち、就職後は東京都に一時移り住んだが、子どもの成長に合わせて自然豊かな地元に戻った。平日は会社勤めで、休日や繁忙期は家族と農作業に励むなど、忙しい毎日を過ごした。定年退職後は、特に茶の栽培に力を入れ「品質は徐々に良くなっている」と手応えを感じている。

茶で地域を盛り上げたい



柳川の
熊澤（くまざわ） 義行（よしゆき）さん(66)

現在、約40㌃の圃場（ほじょう）で茶を生産する。農家の仲間とは互いに圃場を巡回。収穫時期や病害虫の防除などについて頻繁に意見を交換し、品質向上に取り組んでいる。

茶以外では、家族らと協力しながら肉用のサフォーク種を7頭飼育。地域に畜産業への理解を深めてもらおうと、JAの農業まつりや田原ふるさと公園で開かれている畜産まつりでは、動物とのふれあいコーナーに羊を提供。「子どもたちに喜んでほしいし、畜産業に興味を持ってもらいたい」と笑顔で話す。

JAの協同組合講座を受講し、協同組合などについて学んできた熊澤さん。組合員教育事業国外視察研修にも参加し、タイの農協などを訪問して見聞を広めた。

柳川第二生産組合長在任中には、講座での経験を生かし、JAと地域とのパイプ役として活躍した。

熊澤さんは「上地区は若い人が年々減っている。仲間と協力しながら品質の高い茶を作り、少しでも地域を盛り上げていけたら」と笑顔を見せた。

やえのちゃんぴーなマンの「JAってなに？？」

「人の和」と優しさ表現

ぴーなマン JAのマークには意味があるって聞いたんだけど、やえのちゃん知ってる？

やえのちゃん もちろん！JAマークの安定感のあるデザインは「ゆるぎない大地」「日本の国土」をイメージしてできているの。

三角形は「自然」、Aの部分は「人間」を表しているのよ。Jの左端の円は「農業の豊かさ」「実り」と、協同の精神に基づく「人の和」を象徴しているの。

色は、自然環境と成長を象徴し、深みのある優しさを感じさせる「緑色」を使っているのよ。

ちなみに、JAマークは1992年に制定されたもので、前は、「農協マーク」って呼ばれる「協」を図案化した円形のものだったの。

ぴーなマン なるほど。マークにも深い意味が込められているんだね。ありがとう、やえのちゃん！

R70 古紙パルプ配合率70％再生紙を使用

2017年 幕開け飾る

地域に根差す伝統行事

2017年が幕開けし、管内では正月の伝統行事や新年を祝うイベントが続々と開かれた。JAはだのは、今年も組合員や地域住民にとって暮らし良い豊かな1年になるよう、JA事業や農業を通じ地域に根差した活動を展開していく。

農家に教わりながら門松作りに挑戦

子ども村で門松作り

文化をつなぎ自然に触れ

JAはだのが12月28、29日の2日間、山梨県北杜市周辺で開いた「第12回冬休み子ども村」では、児童90人が「ミニ門松」作りにチャレンジした。

作り方は、現地の農家らが指導。竹に稲わらを巻きつけ、松の葉や梅の木、ナンテンの実をあしらって完成させた。児童の一人は「新しい年を自分で作った門松で迎えられてうれしい」と笑顔で話した。

その他、山梨県の伝統料理「ほうとう」を班で協力して調理し、昼食に味わった。また、同県の「ハイジの村」でイルミネーションと星空を堪能した他、長野県にある「シャトレーゼ キーリゾート八ケ岳」で、秦野ではできない雪遊びをするなど自然を満喫した。

班員と意見を合わせて答える「連想ゲーム」など、班対抗のゲーム大会も開催。児童は、共同生活を通して他校の児童とも交流を深めた。

女竹を割り農作物の作柄を占うメンバー

筒粥で作柄占う

豊作予想ににっこり

15日には東田原で、小正月に行う地域の伝統行事「筒粥（つつがゆ）神事」が行われた。地元農家らで構成する富士講のメンバー7人が、今年1年の農作物の作柄を占った。

メンバーは、米や麦、芋など12の作物の記号を書いた細い女竹を用意。いろりに鍋を掛け、まきの火で小豆がゆと、束ねた12の女竹を一緒に煮立てた。煮上がった女竹を包丁で割り、中に入った米粒の数で今年の農作物の豊凶などを占った。

さらに、まきの焼け具合で月ごとの天候も予測。

代表の大津晴三さんは「今年は8～10月が豊作になりそうだ。天候も良さそうなので、作付けをしっかりして農作業に励みたい」と話した。

来店者に七草がゆを振る舞う北村代表㊧

七草がゆどうぞ

野菜ソムリエ振る舞う

野菜ソムリエの資格を持つ農家で組織する「はだの野菜ソムリエ倶楽部（くらぶ）」は7日、じばさんずで、地場産農産物で作った七草がゆを来店者に振る舞った。

伝統行事を幅広い世代に伝えるとともに、地場産の消費につなげることが狙い。材料には、メンバーが栽培したダイコンやカブ、セリなど7品目を使用。切り餅なども入れ、とろみを付けて食感に工夫を凝らした。メンバーは、作り方などを紹介しながら、約200食を配った。

来店者の一人は「野菜がたっぷり入っていておいしかったし、体が温まった。家族にも作ってあげたい」と話した。北村順子代表は「七草がゆを食べて正月で疲れた胃を整えてほしい。多くの方にこの1年を健康に過ごしてもらいたい」と笑顔で話した。

色とりどり団子を豪華にあしらった団子飾り

農家が団子飾り

直売所に小正月演出

15日の小正月に合わせ、じばさんずに「どんど焼きの団子飾り」がお目見えした。色とりどりの団子が華やかさを演出し、来店者の目を楽しませた。

飾り付けたのは、出荷者グループ「よめっ娘」のメンバーとその家族。五穀豊穣（ほうじょう）や同店の商売繁盛を祈り、毎年飾り付けている。

コナラの枝には、地粉で作った赤、白、黄、緑の団子などを装飾。土台となる石臼の上には、えとにちなんで鶏の飾りなどを配置した。若い世代の来店者にも伝統文化を伝えようと、団子の作り方を記載した店内広告(POP)も設置した。

メンバーの一人は「地粉を使って家庭でも団子を作ってもらえたらうれしい。来店者に楽しんでもらいたいので、みんなで協力しながら今後も続けていきたい」と笑顔で話した。

農家にメリット ある事業運営を

認定農業者と意見交換

ＪＡ役職員と認定農業者が活発に意見を交換

JAはだのは農家にメリットのある事業運営をさらに進めるため、18日に本所で認定農業者との意見交換会を開いた。地域農業をけん引する認定農業者22人が参加した。

山口政雄組合長らが、農協法改正の概要やJAはだの営農経済改革の取り組み状況、役員の選出方法などについて説明。

参加者からは「秦野にしかないブランドを作ってほしい」「生産資材の価格が安くなり、改革が進んでいる。今後も努力を続けてほしい」などさまざまな意見・要望が上がった。

JAは今後も認定農業者との話し合いの場を設け、寄せられた声を反映し、自己改革の柱に位置付けている「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」に努めていく。

地元の花で式典鮮やか

新成人の門出祝う

部会が飾り付け

花の装飾展示
主催 JAはだの 花き部会
みんなで地産地消運動

新成人の門出を祝う地場産の花々

花き部会は8日、秦野市の成人式会場に地場産の花を飾り付け、新成人1748人の門出を祝った。部会員11人が、文化会館ロビーの記念撮影ブースや壇上に装飾。今年は「JAはだのみんなで地産地消運動」の看板も設置し、地場産の花をPRした。

部会を構成する露地部、カーネーション部、バラ部、鉢物部、一般切花研究会が、切り花350本と鉢物50鉢を用意した。カーネーションやバラ、ストックなどをアレンジした大型の花台の他、松竹梅の枝物を装飾。足元はパンジーなどを植え付けた鉢植えで彩りを添えた。壇上には赤やピンク、白のシクラメンを並べた。

加藤政市部会長は「式のテーマが〝夢〟なので、新成人には夢に向かって積極的にチャレンジして、大きな花を咲かせてほしい」と笑顔を見せた。

防犯イベント キャラが活躍

来場者と交流

来場した子どもたちと交流を深める「やえのちゃん」と「ぴーなマン」

JAはだののオリジナルキャラクター「やえのちゃん」と「ぴーなマン」が10日、入船町のイオン秦野店で秦野警察署が開いた「110番の日」の啓発キャンペーンに参加した。

同署からの依頼を受けて参加し、警察官が110番通報時の注意点などを説明する中、タレントの山本高広さんらと共に会場を盛り上げた。来場者と交流を深めながら、JAが取り組む「みんなで地産地消運動」のちらしも配布し、地場産農産物の消費を促した。

同署は「とてもかわいいキャラクターなので、協力してくれてとてもありがたい。これからも共に地域防犯に努めていきたい」と話した。

協同の心学び リーダー育成

組合員教育で視察

JAはだのは13日、組合員教育事業の一環で国内視察研修会を開いた。同事業の協同組合講座の受講生47人が参加。静岡県掛川市の大日本報徳社を視察し、協同の意義を再確認した。

参加者は、二宮尊徳の「至誠」「勤労」「分度」「推譲」の報徳思想や、その教えを広めた秦野市蓑毛出身の安居院庄七の生涯について学習。思想の考え方や普及活動に従事した人物を知ることで、協同について理解を深めた。その後、参加者は研修会の内容や地域の情報などについて意見を交換した。

菖蒲の山本純子さんは「報徳思想とJAのつながりを知り、もっと学びたいと感じた。他地区の人と交流もできて良かった」と話した。

大日本報徳社の歴史を学び協同について理解を深める参加者

発見 頑張り屋さん　No.405

こだわりの豆腐で勝負

堀山下の 大木（おおき） 勝次（しょうじ）さん（46）

堀山下で「大木豆腐店」を営む大木勝次さん。高校卒業後、祖父と父が経営する同店を引き継ごうと、店を手伝いながら豆腐作りのノウハウを学んだ。現在、3代目として店を切り盛りしている。

――1日の流れは？

毎朝3時には起床し、道具を手洗いした後、前日から下ごしらえした大豆を煮立てて1日が始まります。1日平均で200丁の豆腐を作っていますが、提携先の施設などからの注文があるときは、もっと多くの豆腐を作っています。

――販売している豆腐は？

絹ごし豆腐と木綿豆腐です。おからなどは販売せず、豆腐だけで勝負するのが店のモットーです。大豆を絞ってできるおからは、世話になっている市内の牧場に無償で提供しています。じばさんずや西直売センター、特産センター渋沢店に出荷し、時には飛び込みで1軒1軒声掛けをして販売しています。

――心掛けていることは？

食品なので「安全・安心」です。今も、先代から引き継いだ作業行程で豆腐作りをしています。絹ごしと言っても箸で指しても持てる固さの豆腐が出来上がり、マーボー豆腐にしても豆腐は崩れにくいです。

――仕事以外には？

バイクが趣味で、オフロードバイクが好きです。息抜きを兼ねて時間があれば走りに行っています。

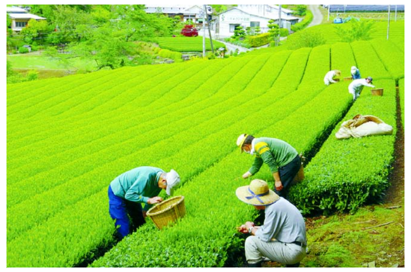
――今後は？

現状維持で、店を守り続けたいです。多くの人に「大木豆腐」を味わってもらいたいです。

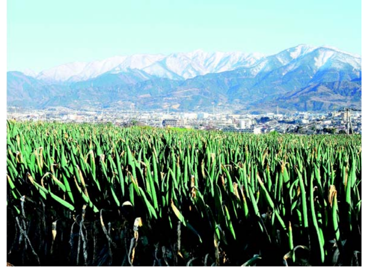
農ある風景で写真コンクール

山口さん優秀賞

栗原さん入選



山口さんの作品「八十八夜」



栗原さんの作品「雪の丹沢連山と長ネギ」

JA神奈川県中央会と神奈川新聞社は「第1回〝農〟のある風景写真コンクール」を開いた。農作業などの風景を撮影した写真924点の中から、曽屋の山口勇さんが優秀賞に輝き、緑町の栗原正行さんが入選した。

山口さんの作品は「JAグループ神奈川2017年卓上カレンダー」に掲載されている。山口さんは「茶を手摘みする昔ながらの風景を撮りたかった。これからも地元や里山の魅力を多くの人に伝えていきたい」と話した。

長寿者に記念品贈呈

いきいきライフ支援事業

おめでとうございます。末永くお元気でお過ごしください。

88歳（米寿）

▽大根地区＝徳永美佐子（下大槻）
▽南地区＝綾部トヨ（今泉）北村武夫（今泉）
▽西地区＝清水達夫（並木町）

77歳（喜寿）

▽大根地区＝由良静江（北矢名）
▽本町地区＝三嶽久子（本町）野口誠（曽屋）川口久雄（ひばりヶ丘）
▽南地区＝髙橋進（尾尻）飯田幸喜栄（尾尻）
▽西地区＝飯田好子（堀西）柳生美和子（堀西）

※自己申告ですので、該当の方は各支所、支店までご連絡ください。

歌や踊りで華やかに

文化交流会

女性部は19日、秦野市文化会館小ホールで文化交流会を開いた。同部目的別趣味グループが、日頃の活動の成果を発表する場として毎年開催。新たなメンバーを募るなど活性化を図った。発表者、観客ら合わせて約350人が来場し、舞台や展示を楽しんだ。

第12回JAはだの女性部文化交流会
夢ふくらむ　文化の発信地をめざして
JAはだの女性部
JAはだの

発表者全員で合唱

手芸や絵手紙、書道も

ステージでは、21組のグループが日本舞踊やダンス、コーラスなどを発表。昨年8月に「友好ＪＡ協定」「災害時相互支援に関する協定」を結んだ福島県のＪＡ東西しらかわ女性部も駆け付け、氷川きよしの「ズンドコ節」などの曲に合わせて踊りを披露した。

作品展示コーナーには、12組のグループの手芸や絵手紙、書道などの作品が並び、多くの人が目を留めていた。

絵手紙や手芸などの作品が並んだ

新潟の味を堪能

企画旅行で親睦深める

笹団子を作る部員

女性部は15、16の2日間、企画旅行を開き、新潟県を訪れた。部員同士の親睦を深めるのが目的で、64人が参加した。

1日目は、湯沢町で名産「笹団子」作りを体験し、南魚沼市の塩沢宿牧之通で美しい町並みを散策しながら塩沢宿の歴史や文化を学んだ。昼食には伝統料理「へぎそば」を味わった。

2日目は長岡市の寺泊中央水産で買い物を満喫し、新潟景勝百選1位の良寛記念館などを訪れ景色を楽しんだ。

部員の一人は「旅行に行くと親睦が深まる。新鮮な海産物を味わえたし有意義に過ごせた」と笑顔を見せた。

フレッシュミセスのつどい

食品サンプル制作　ふるさとの味に舌鼓

女性部は10日、東京方面に赴きフレッシュミセスのつどいを開いた。女性部活動への参加と新規部員加入の促進、相互の親睦を深めることが目的。部員20人が参加した。

参加者は、東京都豊島区にある大和サンプル製作所でスイーツサンプル作りにチャレンジ。参加者同士、作り方を確認しながら「パフェ」のサンプルを制作した。

その他、同文京区の東京ドームで開かれた全国各地から食材や伝統の祭りが集う「ふるさと祭り」で、故郷の味や特産物などに舌鼓を打った。

サンプル作りをする参加者

２月の女性部行事予定

６日(月)本町支部「支部旅行」
　８：00～横浜市方面
７日(火)女性部本部役員会
　13：30～大会議室
８日(水)女性部大豆プロジェクト「みそ造り」（10日まで）
　13：00～団地２階・農産加工室
９日(木)ふるさと料理教室（すえひろこども園）
　９：30～本町公民館
10日(金)ふるさと料理教室（南が丘中学校）
　９：30～南が丘中学校
13日(月)女性部支部役員会（大根）
　９：00～大根支所・会議室
〃　女性部支部役員会（東）
　９：30～東支所・会議室
〃　大根支部「しいたけ作り」
　11：00～大根支所
〃　女性部支部役員会（上）
　13：00～上支所・会議室
〃　女性部支部役員会（北）
　13：30～北支所・会議室
〃　上支部「しいたけ作り」
　15：00～上支所
14日(火)第59回全国家の光大会（15日まで）
　９：00～広島市文化交流会館
〃　女性部支部役員会（西）
　13：00～西支所・会議室
〃　女性部支部役員会（本町）
　13：30～本町支所・会議室
〃　西支部「しいたけ作り」
　14：30～西支所
16日(木)女性部支部役員会（南）
　13：00～南支所・会議室
〃　南支部「しいたけ作り」
　14：30～南支所
20日(月)女性部大豆プロジェクト「みそ造り」（22日まで）
　13：00～団地２階・農産加工室
23日(木)2016年度女性部研修会
　７：00～東洋羽毛
〃　女性のＪＡ運営参画に関する研修会
　13：00～ＪＡグループ神奈川ビル
24日(金)目的別趣味グループ代表者会議
　10：00～百合の間
26日(日)女性部大豆プロジェクト「みそ造り」（28日まで）
　13：00～団地２階・農産加工室

いきいき女性部活動

舞踊「友の会」

代表　草山　美重子

年月が経つのは早いものです。舞踊「友の会」が発足して13年、初心に帰り新たな気持ちで練習に励み、楽しいひとときを過ごしています。今年は酉（とり）年、羽を大きく広げて羽ばたいて踊っていこうと思っています。

近隣の老人会をはじめ、ＪＡデイサービスセンターはだのや市内の老人ホームを10カ所以上ボランティアで披露しています。人生の先輩とお会いしてお互いに元気を分かち合っています。

私たちの会は仲間の和を大切にしながら、大勢の皆さまと交流を深め、女性部の活動にいろいろと参加し、一日健康に過ごせるよう頑張っていこうと思っています。

支部だより

東支部

ふるさと料理教室

東支部は17日、東公民館でふるさと料理教室を開いた。東幼稚園の園児の母親22人に「太巻きずし」を伝授した。

部員は調理しながら、参加者に昔から祭りなどの行事で作られていたことや、子どもと一緒に作って楽しめることなどを伝えた。また、シソを入れるなど具材を工夫することで、アレンジできることも教えた。

小泉裕子部長は「手作りの味や温かさを知り、子どもたちに伝えてほしい」と話した。

参加者に巻き方のこつを伝授

北支部

支部旅行で交流

北支部は11日、部員同士の交流を深めるために支部旅行を開いた。

参加した部員30人は、川崎市の「味の素川崎工場」を訪れ、人気商品「ほんだし®」の製造工程の見学やかつお節削りの体験をした。その後、横浜港で輸入業者が農産物を保管する倉庫内を視察。温度管理のできない場所で保管されている現状などを知り、地産地消の大切さを再確認した。

かつお節削りを体験

2016年度女性部座談会日程表について

	午前９：30～同11：30	午後１：30～同３：30
	会　場	会　場
1月27日（金）	大根支所（大根）	南平会館（大根）
	宮町会館（南）	蓑毛下会館（東）
		かわじ荘（上）午後4：30～
1月30日（月）	名古木会館（東）	本町支所（本町）
	渋沢公民館（西）	堀山下関自治会館（西）
1月31日（火）	鶴巻支店（大根）	三屋会館（北）
	東支所（東）	
	西支所（西）	
2月1日（水）	北矢名児童館（大根）	秦野駅前支店（南）
	西大竹会館（南）	菩提中会館（北）
	黒木欠畑会館（西）	

じばさんず NEWS

【２月のイベント】

☆「節分」３日（金）
豆まき用の大豆と落花生を販売します。

☆「ユースマルシェ」４日（土）
青年部員がホウレンソウ、長ネギ、花きなどを対面販売します。

☆「国産加工豚の日」４、18、25日の土曜日
フリーデンによる試食販売です。

☆「果物フェア」５日（日）、18日（土）、19日（日）
産地間提携先の旬の果物を販売します。

☆「お楽しみ詰め放題」11日（土）、12日（日）
旬の野菜や果物の詰め放題です。

☆「おすすめ品フェア」11日（土）、12日（日）
お酒のつまみになるおすすめの乾物などを試食販売します。

☆「桃の節句」25日（土）、26日（日）
ひな祭りに向けて、秦野産の桃の花やおひなさま関連の加工品を販売します。

☆「お茶フェア」25日（土）、26日（日）
生産者によるお茶の試飲販売です。

☆「農村レストラン弁当」14、28日の火曜日
農家のお母さん手作り弁当です。秦野産野菜がたくさん入っていておいしいですよ。

☆「試食の日」毎週火曜日
生産者が出荷している旬の野菜やレシピを紹介します。

☆「お米の日」毎週水曜日
店頭価格から10％引き。

☆「お肉の日」毎週木曜日
店頭価格から５％引き。

☆「たまごの日」毎週金曜日
店頭価格から10％引き。

今月の生産者

養毛の　水野（みずの）　洋子（ようこ）　さん

出荷品目　旬の野菜の漬物や総菜、ジャムなど常時20種類以上の加工品

漬物に使うハクサイなどの野菜は夫が栽培しています。安全・安心を心掛け、夫婦で協力しながら毎日朝から仕込みに励んでいます。添加物を一切使っていませんので、お早めにお召し上がりください。

告知板

資産管理セミナーを開催

資産運用部会と税務研究会の会員を対象に、資産管理セミナーを開催します。

◎開催日時　２月11日（土）午後１時30分～同３時

◎場所　ＪＡ本所３階虹の間

◎講演内容「相続税基本の基本」税理士法人オフィスオハナ代表税理士　吉野広之進氏

◎参加費　無料

◎定員　１００人

※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

◎申し込み期日　１月27日（金）まで

◎申込先　各支所・支店

お問い合わせは㈱協同コンサルトはだのまで。☎81―２３２９

第７回地域農業振興大会の開催

地域農業の振興・活性化に向け、組合員の一層の結集を図ることを目的に第７回地域農業振興大会を開きます。

◎日時　２月６日(月)午後１時30分～同３時30分

◎場所　本所３階　虹の間

◎参集者　生産組合長・業種別部会および研究会会員・理事・監事・農業委員ら

◎内容

▽神奈川県水稲奨励品種「はるみ」普及拡大について

▽大会宣言採択

▽ＴＡＣ活動事例報告

▽「はるみ」と「キヌヒカリ」の試食

お問い合わせは営農課まで。☎81―７７１８

営農と生活守る　農業労災に加入を

市内では今年度18件の労災事故が発生しています。

組合員の営農と生活を守るため、女性従事者を含めた農業労働災害保険の加入促進運動を実施しています。

◎運動期間　１月23日(月)から３月10日(金)

◎補償期間　４月１日(土)から１年間

お問い合わせ・お申し込みはお近くの支所・支店まで。

「じんじん～其の二～」の上映会を開催

昨年６月から秦野市を舞台に製作が進められてきた映画「じんじん～其の二～」がいよいよ完成します。映画の完成に当たり、完成披露特別先行上映会を開催します。

◎上映日時　２月24日(金)午後６時～。25日(土)午前10時～、午後２時～。

◎場所　秦野市文化会館　大ホール

◎料金　入場料１０００円（小学生以下は無料）

鑑賞券は、秦野市文化会館および秦野市観光協会で販売しています。お問い合わせは、秦野市観光協会☎82―８８３３

共済保障見直し休日相談会

ひと・いえ・くるまの保障についての無料相談会を開きます。個別にご相談をお受けいたしますので、お気軽にご来所ください。

◎日時　２月４日(土)午前９時から午後４時まで。

◎場所　南支所

ご予約・お問い合わせは南支所まで。☎81―０２６８

市民農業塾の受講生を募集

農業の担い手づくりの場として、平成29年度「はだの市民農業塾」の受講生を募集します。目的に応じて、３コースから選択ができます。

新規就農コースを希望する方には、次の通り説明会を開催します。どちらかの日を申し込んで、必ず出席してください。当日申込書を配布します。

◎日時＝２月15日（水）、18日（土）午後１時30分から

◎場所＝本所農業団地センター３階ＯＡ会議室

お問い合わせ・申し込みは、はだの都市農業支援センターまで。☎81―７８００

	新規就農コース	基礎セミナーコース	農産加工セミナーコース
対象者	新たに農家として農業参入を希望する方（年間50万円以上の売り上げを目標）	市民農園などの利用者および利用希望者（農園に空きがない場合があります）	農産加工品の製造販売を希望する人、またはすでにしている方
内　容	就農に必要な知識・技術の習得、露地野菜の慣行栽培研修（原則２年間の実習）	座学（講義）を中心とした基礎的な学習	農産加工品の製造販売に必要な知識の習得
受講場所	表丹沢堀山下ふれあい農園	ＪＡはだの本所	ＪＡはだの本所
募集人数	10人程度	30人程度	20人程度
受講料	20,000円	8,000円	3,000円
期　間その他	（１年目） ３月～翌年１月の毎週水曜日 ＊その他農家研修 ＊水曜日以外にも必要に応じて収穫などの作業を実施 （２年目） ３月～翌年１月農場実習を中心とした実践研修、その他農家研修	３～１２月の土曜日月１～２回程度	月１～２回程度
申し込み	説明会の開催時に申し込み ※面接選考あり	電話での先着順受け付け ※受け付けは２月１日（水）から	

収入保険制度について

農林水産省は平成30年度から収入保険制度を新たに開始します。同制度は品目の枠にとらわれず、自然災害による収量減少だけでなく、価格低下なども含めた収入減少を補償する仕組みです。制度加入をお考えの方は、加入・支払い要件などを必ずご確認ください。

加入するためには、制度加入時に１年分以上の青色申告の実績が必要となります。現在青色申告をしていない方で同制度への加入を希望する方は、平成29年３月15日（水）までに、最寄りの税務署に「青色申告承認申請書」の提出が必要になります。

収入保険制度に関するお問い合わせはＮＯＳＡＩ本所☎94―３２１１、青色申告に関するお問い合わせは組織教育課まで。☎81―７７１４

農機展示予約会を開催

最新の農業機械がずらりと並ぶ農業機械展示予約会が開かれます。

◎日時　２月３日(金)、４日(土)午前９時から午後３時30分まで。

※中古農機販売会（入札方式）の入札は４日（土）午前９時から同11時30分まで。

◎場所　平塚市田村のＪＡ全農かながわ

皆さまお気軽にご来場ください。

平塚税務署から

確定申告についてのお知らせ

平成28年分の確定申告からは
マイナンバー　の記載が必要です

マイナンバー制度導入に伴い、申告手続きにはマイナンバーの記載と本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です。

本人確認書類

①マイナンバーカードをお持ちの方は
マイナンバーカードだけで、本人確認（番号確認と身元確認）が可能です。

②マイナンバーカードをお持ちでない方は

番号確認書類	＋	身元確認書類
《マイナンバーを確認できる書類》 ・通知カード ・住民票の写し又は住民票記載事項証明書（マイナンバーの記載されているものに限る） などのうちいずれか１つ		《記載したマイナンバーの持ち主であることを確認できる書類》 ・運転免許証 ・パスポート ・公的医療保険の被保険者証 ・身体障害者手帳 などのうちいずれか１つ

※　ご自宅からｅ－Ｔａｘで送信すれば本人確認書類の提示又は写しの提出は不要です。
※　郵送により申告書を提出する場合は、①の写し又は②の写しを添付してください。
※　税務署以外で提出する場合は、本人確認書類の提示ではなく写しの添付が必要です。

申告書の作成はご自宅等のパソコンで作成を！

作成　国税庁ホームページにある「確定申告書等作成コーナー」で、所得税、消費税、贈与税の申告書が作成できます。

提出　作成した申告書データは、マイナンバーカードの電子証明書を使用してe-Tax送信することができます。
また、ご自宅等で申告書を印刷し、郵送等により提出することもできます。

平塚税務署による申告書作成会場

- ●会場：ラスカホール（平塚駅ビルラスカ６階）
- ●期間：2月9日（木）～3月15日（水）
（土・日を除く。ただし、2月19日と2月26日の日曜日は開場します。）
- ● 受付：８時30分～16時（提出は8時30分～17時）
- ● 相談：9時～17時（午前中は大変混みあいます。午後は比較的空いてます。）
- ●1月4日（水）～3月15日（水）までは、平塚税務署内に作成会場はありません。

産地化ニンジン着々と

収量8トン目指す

農家所得向上へＴＡＣ支援

ＪＡはだのは農家の所得向上に向け、ニンジンの産地化に取り組んでいる。第二次地域農業振興計画の一環として、２０１４年に生産振興に着手し、今年で3年目を迎えた。今シーズンの収量は約8トンを目標に掲げる。

現在、農家17人が合計66アールの圃場（ほじょう）で栽培に励んでいる。品種は食味の良さが特徴の「アロマレッド」。ＪＡ全農かながわ中央ベジフルセンターを通じて出荷し、県内のエーコープ店舗などに並ぶ。

ＪＡは農家へのサポート体制を充実させ、積極的に生産を後押し。ＴＡＣ（地域農業の担い手に出向くＪＡ担当者・愛称タック）が栽培方法を指導する他、播種前には講習会を開き、病害虫対策などを伝授。種子の費用は、地域農業振興を目的に積み立てている農業振興基金から助成する。

今年度は新たに、ニンジンを活用したジュースとポタージュスープを考案。24日には、じばさんずで無料の試飲会を開き、来店者に秦野産ニンジンのおいしさをＰＲした。

出荷するニンジンの品質を確認する農家ら

市長にバラ、カーネ贈呈

継続的な支援を要請

古谷市長に花束を手渡す部員ら

バラ部とカーネーション部は12日、秦野市役所を訪れ、市にバラとカーネーションの花束を贈った。古谷義幸市長に日頃の農業支援に対する感謝を伝え、継続的な支援を要請した。

バラ部の伊藤伸一部長と柳川弘一副部長、カーネーション部の小野孝允部長と村上清副部長が古谷市長を訪問。色鮮やかな花束を手渡し、市と農家が連携した緑豊かな街づくりについての考えを共有した。古谷市長は「バラもカーネーションも秦野市で歴史のある花。市の発展のためにも、今後も協力を惜しまない」と応えた。

伊藤部長は「市と情報を交換しながら、花で街づくりに貢献していきたい。今後も品質の高い花の生産に取り組んでいく」と話した。

贈った花は庁舎内の正面ロビーに展示され、多くの来場者の目を楽しませている。

高品質なキウイを

剪定講習で部員が情報交換

キウイフルーツ部は11日、曽屋の圃場（ほじょう）でキウイフルーツの剪定（せんてい）講習会を開いた。部員ら20人が、主力品種「ヘイワード」と赤系品種「丹沢レッド」の品質と収量の向上につながる剪定方法を学んだ。

講師を務める県農業技術センター職員が、樹形を管理しやすい「一文字仕立て」の整枝方法を説明した。部員は、枝を更新するタイミングや剪定量などを学習。休眠期の防除方法や鳥獣被害対策などについても熱心に意見を交換した。

恩蔵和男部長は「この時期の剪定は、今年の作柄を左右する重要な作業。部員同士で情報を共有し、品質の高いキウイフルーツを作っていきたい」と意気込んだ。

剪定箇所を確認する部員

受賞おめでとう！

日頃の成果を発揮

神奈川県いちご連は13日、ＪＡあつぎ本所で果実品評会を開いた。審査の結果は次の通り。

▽神奈川青果株式会社秦野市場賞＝片野和彦（戸川）▽ＪＡ全農青果センター㈱神奈川センター場長賞＝須藤操（菖蒲）▽入選＝桐生一義（堀西）飯田進（堀西）須藤操（菖蒲）小泉芳雄（名古木）村上利江子（堀山下）

◇

バラ部は20日、市内圃場（ほじょう）を巡回して立毛共進会を開いた。審査の結果は次の通り。

◎優秀賞＝谷茂（千村）石田勝博（曽屋）鈴野淳史（上大槻）

◇

カーネーション部は23日、市内圃場を巡回して立毛共進会を開いた。審査の結果は次の通り。

◎優秀賞＝小野孝允（千村）藤間孝男（千村）今井勲（羽根）

★営農技術★ ヒント・ポイント

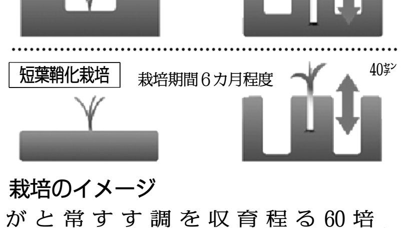
野菜

■農業技術センター　0463-58-0333
普及指導部――果樹花き課　果樹　（伊藤）
野菜課　（江口）
作物加工課　作物　（辻本）
協力
■農業技術センター足柄地区事務所　0465-83-5111
普及指導課――花き　（勝間田）

ネギの短葉鞘化栽培

秋冬に収穫するネギの種の準備は終わっていますか？根深ネギは、溝を掘って苗を植え付け、土寄せを4～5回行って軟白部分をつくる栽培が一般的です。近年、省力化技術として直まき栽培や、平床での短葉鞘化（たんようしょうか）栽培が導入され始めています。

直まき栽培は、やや浅めの溝に直にまいて、育苗管理の手間を省く方法で、雑草が少ない畑で排水が良好な場合は導入可能です。播種（はしゅ）時期は、ネギが発芽できる外気温になる4月以降となります。



栽培のイメージ

短葉鞘化栽培は、通常、60センチ程度になる葉鞘を40センチ程度と短い生育段階の時に収穫し、葉身を15センチ程度に調整して出荷する方法です。播種は通常の栽培方法と同じ（3月が一般的）ですが、平床に植え付けて栽培し、25センチ程度の軟白長で収穫します。植え付けが平床なので、雑草防除などの管理がしやすくなり、生育初期の降雨による湿害が起こりにくくなります。また、畦間を狭めることができ、畑の利用率が高まります。さらに、植え付け前の溝掘りや土寄せ回数も減らすことができます。

短葉鞘ネギは、まだ消費者にはなじみが少ないですが、少人数家族の使い切りサイズで無駄なく利用できる他、持ち運びや冷蔵庫での収納に便利です。県内では「湘南一本」での導入が試みられています。（江口）

野良からこんにちは

小島和子さん（上大槻）
市場に出荷するブロッコリーを収穫しています。じばさんずに出すこともあるので見かけた際には手に取ってください。

今井洋子さん（羽根）
品質の良いカーネーションを作るため、摘芽作業に励んでいます。

文芸の窓

＜俳句＞（酒井　敏光　選）

蝋梅を甕に咲かせて福を呼ぶ　芦川　松江（八沢）

評　馨しい香を放つ蝋梅の伐り枝を甕にと云うからには、大きな器なのであろう。その一杯さが作者の喜び幸せの享受なのだ。想像することさえ床しい思いである。

ころころと猫のころがる枯れ葉かな　石原　松枝（渋沢）

評　猫好きの人なのであろう。遊び相手を探してじゃれつく様が愛しく描かれて木の葉にさえ飛びつくようすが堪らなく可愛いのである。

使い古りし物干し竿に春の光ゲ　酒井　紗恵（桜町）
阿夫利路やさがみ一望初すずめ　柴崎　和子（渋沢）
初松籟吽形像の頬和らぐ　高橋　順子（大秦町）
坂越に日矢の射しいる恵方かな　柳川みち子（栄町）
若水や甲よりかえす掌　佐藤英美子（南矢名）
塩田のさまに菜畑や霜の華　森高　由子（渋沢）
ゆるびたる正月鏡の裏のかほ　高島美和子（名古木）
正月やおら家（ち）の春たァこんなもの　選者

＜短歌＞（久保寺　富男　選）

二つ三つの大きな休みを乗り越えて九十九の坂初春を迎えり　今井　かめ（羽根）

評　人生は頂上のない山登り。それにしても九十九歳はすごい。百歳まであと一歩です。がんばれ！

手の平に朝焼けの富士を載せるがにポーズせる友にシャッターを切る　細田　富士（千村）
朝日受け路上に映る光の環カーブミラーは知らぬ気に立つ　八木　実（鶴巻北）
冬晴れの山並み映えて二の塔は胸張るごとく盆地見おろす　伊東　久（渋沢）
老いてなお書くこともよし初日記新しきページに我が姿見る　久保田　浩（寺山）
大空に抱き上げたる幼子の十指ことごとく輝きて初春　選者

※仮名使いは作者の用法を尊重しています。
※作品募集――毎月10日（締切厳守）までにＪＡはだの組織教育課宛にお送りください。

秦野の農家ご飯

インゲンとコンニャクのツナ煮

大根支部南矢名上部３班　志村　英子

■材料（４人分）■
インゲン70グラム、コンニャク１枚、ツナ缶１缶、調味料（酒大さじ３、しょうゆ大さじ２、砂糖大さじ２、塩少々）

＜作り方＞
①インゲンをゆでてお好みの大きさにカットする。
②コンニャクは縦半分に切ってから薄切りにし、湯がいておく。
③ツナ缶を油ごと鍋に入れ、インゲンとコンニャク、調味料を全て加える。落としぶたをして中火で５分ほど軽く煮込んだら完成。

＜ひとことアドバイス＞
ツナ缶の油も入れるとだしの代わりになり、良い味が出ます。簡単にできる上に、作り置きもできるので忙しい方にお勧め。手作りコンニャクを使うとより一層おいしくなります。

……

鶏とレンコンのガーリック炒め

本町支部中野班　稲本　豊子

■材料（２人分）■
鶏ムネ肉200グラム、レンコン200グラム、ニンニク１片、小ネギ少々、酒小さじ２、塩小さじ１／３、こしょう少々、片栗粉小さじ２、オリーブ油大さじ１、しょうゆ小さじ２、緑茶（粉茶も可）小さじ１

＜作り方＞
①レンコンは５ミリ程度の厚さの半月切り、ニンニクはしんを取って薄切り、小ネギは小口切りにする。緑茶は細かくしておく。
②鶏ムネ肉は皮を取り、そぎ切りにしてから酒と塩、こしょうをもみ込み、さらに片栗粉をもみ込む。
③フライパンにオリーブ油とニンニクを入れ、弱火に掛ける。色が付いたら取り出し、砕いておく。
④レンコンと鶏ムネ肉を③のフライパンに入れて焼く。焼き色が付いたらしょうゆを回し入れる。緑茶を加えたらさっと混ぜる。
⑤④を器に盛り、ニンニクと小ネギを散らして完成。

＜ひとことアドバイス＞
旬のレンコンを使ったレシピです。鶏ムネ肉の皮は取らずに調理可。簡単ですので、ぜひお試しください。

今月の理事会

1月20日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

▽神奈川県常例検査に対する改善状況等の報告について
▽２０１７年度事業計画基本方針（継続案）について
▽利用者管理規程の変更について
▽高額貸出金の借入申し込みについて
▽理事の利益相反取引について

税務相談日　2月10日（金）午前９時30分～
法務相談日　2月20日（月）午後１時30分～
場所　ＪＡはだの本所２階
組織教育課
☎81―7714
・予約制となっていますので、事前にお電話にてご予約をお願いします。
・受け付け順に相談時間が決まります。

結婚相談日
2月10日（金）
時間　午前９時～正午
場所　ＪＡはだの本所
農業団地センター１階
お問い合わせ
組織教育課☎８１―７７１４

家の光　今月の新刊

心の嵐を青空に

美輪明宏　著

さまざまな人生相談を通して、悩みや苦しみを乗り越えるためのこつを美輪明宏が伝授。「今まで生きてこられたのだから、これからも大丈夫！」と背中を押してくれる。

定価1512円（税込み）

懐石小室に教わる一生ものの和のおかず

小室光博　著

東京・神楽坂の名店「懐石小室」の店主による家庭でおいしく作れる和のおかず。味を引き立てるこつや食材の選び方・使い方などプロならではのヒントを満載している。しっかり身に付くので、初心者にもお勧めできる。

定価1620円（税込み）

楽しいよデイサービス

踊りを披露し触れ合い

「青葉会」

ＪＡデイサービスセンターはだののイベントやボランティア活動を紹介します。

◇

青葉会は女性部目的別趣味グループの一つで、女性部のイベントやＪＡデイサービスセンターはだのなどで活動しています。

結成から今年で10周年を迎えました。現在、年に数回ほど利用者の方々に踊りを披露しています。皆さまに喜んでもらえることで、私たちも元気をいただいています。これからも触れ合いを大切にしながら、楽しく、できるだけ長く活動を続けていきたいと思います。

◇

お問い合わせは、ＪＡはだのデイサービスセンターはだのまで。☎85―5177

日頃のご愛顧に感謝をこめて！
バレンタイン定期貯金キャンペーン
キャンペーン期間
２日間限定
2017年2月14日（火）・15日（水）
はだのじばさんずなどで使える「くみあい利用券」＆バレンタインチョコレートプレゼント！
※「くみあい利用券」は、はだのじばさんず、特産センター秦野店・渋沢店、JAグリーン、西直売センター、JAはだの支所・支店（給油所含む）でご利用いただけます。
対象　★30万円以上の新規契約、契約期間1年の自動継続定期貯金
※個人の方の契約に限ります。
特典　①新規契約30万円ごとに300点（300円分）の〔くみあい利用券〕を進呈
※ただし、期間中1名様につき3,000点（3,000円分）を上限とさせていただきます。
②バレンタインチョコレートのプレゼント!!
JAはだの　みんなで地産地消運動実施中！
JAはだの　■信用課 ☎81-7716

住宅ローン
年金受給手続
休日相談会
●マイホームの新築・購入から、リフォーム・借り換えまで、資金のご相談を承っております。
●これから年金を受け取る皆さまの複雑な受給手続きのお手伝いをさせていただきます。
日時　2月19日（日）
※時間は午前9時～午後4時まで
どなたでもご相談いただけますので、お気軽にご来場ください。
会場　JAはだの本所
農業団地センター
ご来場の方に記念品を進呈
それぞれ事前予約をされると便利です。
◆住宅ローンを相談される方は融資課に
◆年金受給手続きを相談される方は信用課に
JAはだの本所
秦野市平沢477
■融資課 ☎81-7713
当日は 0120-954-093
■信用課 ☎81-7716
当日は 0120-954-092